

BW-9200 設定マニュアル



アイメックス株式会社

目次

免責事項:	4
取り扱い上の注意	4
1. ユーザー設定	5
1-1. システム設定	5
1-2. カスタム設定	5
1-3. Scan Mode	6
1-4. インターフェース	6
1-5. エイマーと照明設定	7
1-6. 正読通知設定	7
1-7. ビープ設定	8
1-8. バイブレータ設定	10
1-9. 同一バーコード読取遅延時間	10
1-10. RS-232 インターフェース設定	11
1-11. 文字コード設定 (WindowsOS 端末限定)	14
1-12. キーボード設定	14
2. シンボル設定	16
2-1. UPC/EAN 設定	17
2-2. Code 39 設定	22
2-3. Code 93 設定	23
2-4. Code 128/GS1-128 設定	24
2-5. GS1-128 データ編集設定	25
2-6. Codabar 設定	25
2-7. ITF (インターリーブド 2 of 5) 設定	27
2-8. インダストリアル 2 of 5 設定	28
2-9. マトリックス 2 of 5 設定	28
2-10. スタンダード 2 of 5 設定	29
2-11. MSI 設定	30
2-12. GS1 DataBar 設定	31
2-13. GS1 DataBar データ編集設定	32
2-14. QR Code/Micro QR Code 設定	33
2-15. GS1 QR データ編集設定	34
2-16. Data Matrix 設定	34
2-17. GS1 DataMatrix データ編集設定	35
2-18. PDF417/Micro PDF417 設定	36
2-19. Aztec Code 設定	36
2-20. MaxiCode 設定	37
2-21. GS1 Composite 設定	37
2-22. GS1 Composite データ編集設定	38

2-23.	日本郵便 カスタマバーコード設定.....	39
2-24.	コード ID 設定	40
2-24-1.	Identifiers Code Table ”表 A”	43
2-25.	キャラクタ設定.....	44
3.	Full ASCII コード表	46
4.	外部コマンドによる制御機能.....	57
4-1.	スキャンコマンド.....	57
4-1-1.	スキャンコマンド：OFF	57
4-1-2.	スキャンコマンド：1.....	57
4-1-3.	スキャンコマンド：2.....	57
4-1-4.	スキャンコマンド：3.....	57
4-1-5.	スキャンコマンド：4.....	58
4-2.	通知コマンド.....	58
4-2-1.	LED 点灯/消灯.....	58
4-2-2.	ビープ発音.....	58
4-2-3.	バイブレータ駆動.....	59

改版履歴

改訂バージョン一覧:

バージョン	日付	改版内容
1.0.1	2020/3/31	初版
1.0.2	2021/6/11	QRコード Model1 設定コードの修正、UTF8 対応削除

免責事項:

本マニュアルの内容は、無保証で提供されます。さらに、本文書は、アイメックス社の責務を表しているものではありません。アイメックス社は、これが正確であること、完全であること、あるいはエラーが無いことを保証しているものではありません。本マニュアルの提供、実行、または使用に関連する付随的または結果的な損害について、当社は責任を負いません。書面による承認を得ずに、不正な改造、故意の損傷、過失、異常な作業状態、指示および警告に従わなかった場合、または製品の誤用、変更、修理によって生じた欠陥について、当社は一切の責任を負いません。

本マニュアルのいかなる記載も、いかなる形態でも、いかなる手段でもアイメックス社の書面での許可がないものは複製できないものとする。これは、例えば写真のコピーあるいは情報記憶復元装置に記録することなどの電子的・機械的を問わずに含まれる。アイメックス社は、予告なしに製品設計を変更する権利を留保します。本マニュアルの内容は、情報提供のみを目的としており、予告なく変更されることがあります。本書に記載されているすべての商標は、登録の有無に関わらず、さまざまな特性に分類された所有者の所有物です。

取り扱い上の注意

- スキャナを火中に投じないでください。
- スキャナをヒータのそばあるいは炎天下に放置しないでください。
- スキャナを高湿度の場所で使用および保管をしないでください。
- スキャナを落下させたり衝突させないでください。
- スキャンを許可なく分解しないでください。


1. ユーザー設定

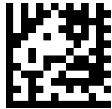

このマニュアルの設定コードをスキャンして、スキャナーの設定とプログラミングを変更します。デコードオプションとインターフェイスプロトコルは、特定のアプリケーションに合わせて調整できます。

設定パラメータは、スキャナの不揮発性メモリに保存され、電源を切っても保持されます。設定パラメータは、リセットしたときにのみ変更されます。スキャンするときに、隣接する設定コードを隠すことで確実に設定することができます。

1-1. システム設定


設定の初期化、ファームウェアバージョンを PC などホスト機器へ出力します。


工場出荷設定は、各設定項目で枠が塗りつぶし  されている設定となります。

	<p>初期化 工場出荷設定に戻す</p> <p>*USB 仮想 COM もしくは RS-232 で使用している場合 初期化により工場出荷設定の "USB HID" に戻ることはありません。 初期化する直前のインターフェースのままとなります。</p>
	<p>ファームウェアバージョンを出力する</p> <p>出力表示例: Model:BW-9200 (P01.00) U Ver:01.01 Feb 27 2020 SN:20191112</p>

1-2. カスタム設定




カスタムデフォルト、カスタム設定の保存をします。

	<p>カスタムデフォルト 保存したカスタム初期値に戻す</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

	<p>カスタム設定を保存する</p> <p>任意に変更した現状の設定をカスタム初期値として保存する場合に使用します。</p> <p>カスタム設定を工場出荷設定に戻す手順は、前項 1-1 の初期化を読取った後、本設定を読取ります。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

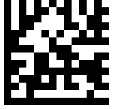

1-3. Scan Mode




スキャンモードを選択します。

	<p>トリガーモード</p> <p>トリガスイッチを押下することで読取りをします。</p>
	<p>自動スキャンモード</p> <p>常時読取りをする状態になっていますのでトリガスイッチを押下しなくても連続で読取りをします。二度読み防止のために後項「1-9. 同一バーコード読取遅延時間」の設定で調整します。</p>
	<p>プレゼンテーションモード</p> <p>スキャナをスタンドなどに装着して使用する場合に設定します。被写体（バーコード）に読取り窓を向けるとバーコードを自動的に検出してトリガスイッチを押下しなくても連続で読取りをします。二度読み防止のために後項「1-9. 同一バーコード読取遅延時間」の設定で調整します。</p>

1-4. インターフェース

本スキャナは、USB HID、USB 仮想 COM、RS-232 のインターフェースが選択できます。インターフェースを切り替えるには、適切なケーブルを選び、接続するホスト機器に適切なインターフェースを設定します。

	<p>USB HID</p>
	<p>USB Full Speed</p>

	USB High Speed
	USB 仮想 COM
	RS-232


1-5. エイマーと照明設定

エイマーと照明の設定をします。

	照明 OFF(白色 LED)
	照明 ON(白色 LED)
	エイマーOFF(赤色線)
	エイマーON(赤色線)
	エイマー常時点灯有効 被写体(バーコード)に読取り窓を向けるとエイマーが自動で点灯します。 目的のバーコードに照射してからトリガスイッチを押下すると読取ります。
	エイマー常時点灯無効

1-6. 正読通知設定

正読通知の設定をします。

	LED+ビープ
	LED+パイブレーション
	LED+ビープ+パイブレーション
	LEDのみ 読取り正読通知音、起動音、設定音:なし

1-7. ビープ設定

ビープの設定をします。




音色、発音時間、音量などの変更ができます。

	単音(中音)
	単音(低音)
	単音(高音)
	消音 読取り正読通知音:なし 起動音、設定音:あり
	高音から低音
	低音から高音
	発音時間 (100msec)

	発音時間 (50msec)
	発音時間 (20msec)
	発音時間 (5msec)
	発音時間 (200msec)
	発音時間 (500msec)
	音量 大
	音量 中
	音量 小
	読取りデータの送信後に正読の通知をする
	読取りデータの送信前に正読の通知をする
	起動時のビープを鳴らす
	起動時のビープを鳴らさない

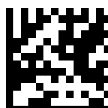




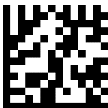

1-8. バイブレータ設定





バイブレータの駆動時間を設定します。

	300msec
	500msec
	1000msec

1-9. 同一バーコード読取遅延時間








同一バーコードの読取り遅延時間の長さを設定します。














	50msec
	100msec
	200msec
	300msec
	400msec
	500msec
	600msec

	700msec
	800msec
	900msec
	1000msec
	無限 二度読み防止に使用します



1-10. RS-232 インターフェイス設定

ホスト機器に合わせてスキヤナの通信設定をします。

	2400 bps
	4800 bps
	9600 bps
	19200 bps
	38400 bps
	57600 bps
	115200 bps



	230400 bps
	パリティビット無
	パリティビット奇数 (Odd)
	パリティビット偶数 (Even)
	ストップビット 1 ビット
	ストップビット 2 ビット
	データビット 7 ビット
	データビット 8 ビット
	ACK/NAK
	Xon/Xoff
	RTS/CTS
	ハンドシェイク無
	BEEPER ON<BEL> キャラクタ 有効

	BEEP ON <BEL> キャラクタ 無効
	ACK/NAK 応答時間 300ms
	ACK/NAK 応答時間 2s
	ACK/NAK 応答時間 500ms
	ACK/NAK 応答時間 3s
	ACK/NAK 応答時間 1s
	ACK/NAK 応答時間 5s
	ACK/NAK 応答時間 無制限
	終端コード - 無し
	終端コード - CR/LF
	終端コード - CR
	終端コード - LF
	終端コード - H tab(水平タブ)

	終端コード - STX/ETX
	終端コード - EOT



1-11. 文字コード設定 (WindowsOS 端末限定)

日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)が含まれる二次元コードを読取る場合に設定します。
 ホスト機器のアプリケーションによっては文字化けする場合があります。

	日本語エンコードする Shift_JIS
	日本語エンコードしない

1-12. キーボード設定

キーボードの設定をします。

	キーボード言語サポート---USA
	キーボード言語サポート---日本

	Caps Lock ON
	Caps Lock OFF
	ファンクションキーエミュレーション有効
	ファンクションキーエミュレーション無効
	数字データ送信 フルキー
	数字データ送信 テンキー *ホスト機器の Num Lock を ON にしてください。
	アルファベットはキーボードに従う RS-232 も有効
	アルファベットは常に大文字 RS-232 も有効
	アルファベットは常に小文字 RS-232 も有効
	Caps Lock の状態を無視する
	Caps Lock の状態を無視しない

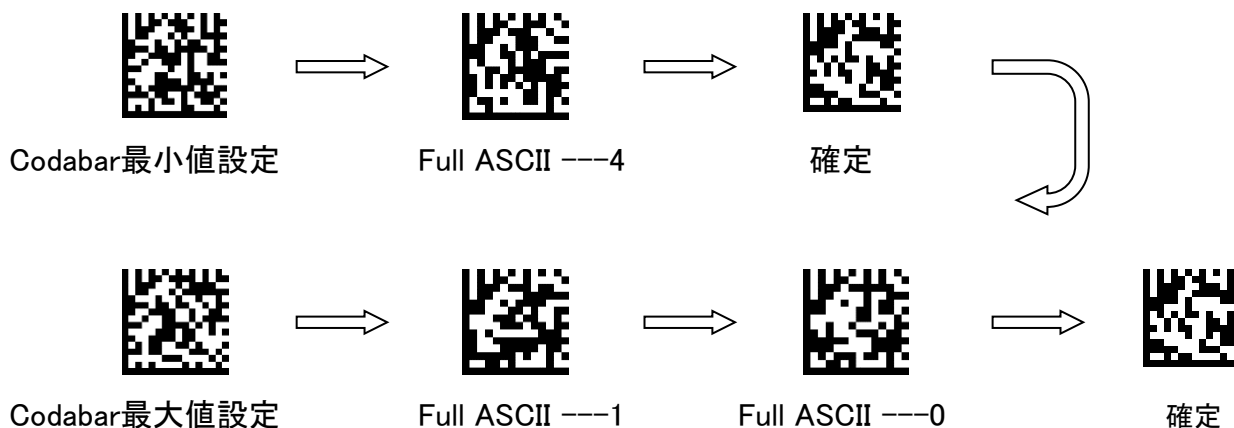
各設定がデータにどのように影響するかについては、以下の表を参照してください。

 ABCabc	ホスト機器 Caps Lock OFF	ホスト機器 Caps Lock ON
アルファベットはキーボードに従う	ABCabc	abcABC
アルファベットは常に大文字	ABCABC	ABCABC
アルファベットは常に小文字	abcabc	abcabc
Caps Lock の状態を無視する	ABCabc	ABCabc
Caps Lock の状態を無視しない	ABCabc	abcABC

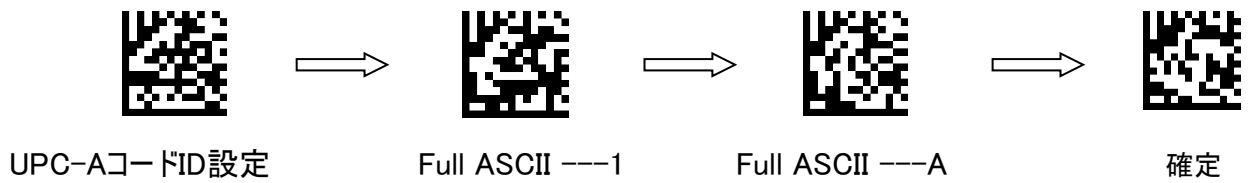
2. シンボル設定

このセクションは、各シンボルの機能を有効にしたり無効にしたりする設定バーコードです。
 *設定に必要な Full ASCII バーコードは、3.ASCII Table を参照してください。

例 1)「2-6.Codabar設定」読取り桁数を4~10文字に設定する。



例 2)「2-24.コードID設定」UPC-Aのスキナ標準コードIDを“A” ⇒ “1A”にする。



2-1. UPC/EAN 設定




	読取る
	読取らない
	EAN-8 または EAN-13 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	UPC-A と EAN-13 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	UPC-A と UPC-E 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	UPC-A 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	UPC-E 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	EAN-13 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	EAN-8 読取る ※「UPC/EAN 読取らない」設定時に有効
	UPC/EAN add-on 読取らない

	5 桁読取る
	2 桁読取る
	2 桁と 5 桁読取る
	UPC/EAN add-on なしでも読取る
	UPC/EAN add-on のみ読取る
	Add-on の前にスペースを 1 桁入れる
	Add-on の前にスペースを入れない
	UPC-A データ照合チェックしない
	UPC-A データ照合チェック = 1 回
	UPC-A データ照合チェック = 2 回
	UPC-A データ照合チェック = 3 回
	UPC-A を EAN-13 形式にする
	UPC-A を EAN-13 形式にしない

	UPC-A 先頭文字出力する
	UPC-A 先頭文字出力しない
	UPC-A チェックデジット出力する
	UPC-A チェックデジット出力しない
	UPC-E データ照合チェックしない
	UPC-E データ照合チェック = 1 回
	UPC-E データ照合チェック = 2 回
	UPC-E データ照合チェック = 3 回
	UPC-E を UPC-A 形式にする
	UPC-E を UPC-A 形式にしない
	UPC-E 先頭文字出力する
	UPC-E 先頭文字出力しない
	UPC-E チェックデジット出力する

	UPC-E チェックデジット出力しない
	EAN-13 データ照合チェックしない
	EAN-13 データ照合チェック = 1 回
	EAN-13 データ照合チェック = 2 回
	EAN-13 データ照合チェック = 3 回
	EAN-13 の最初が“0”の場合出力する
	EAN-13 の最初が“0”の場合出力しない
	EAN-13 の最初が 0 の ID は UPC-A
	EAN-13 の最初が 0 の ID は EAN-13
	EAN-13 チェックデジット出力する
	EAN-13 チェックデジット出力しない
	EAN-8 データ照合チェックしない
	EAN-8 データ照合チェック = 1 回

	EAN-8 データ照合チェック = 2 回
	EAN-8 データ照合チェック = 3 回
	EAN-8 を EAN-13 形式にする
	EAN-8 を EAN-13 形式にしない
	EAN-8 チェックデジット出力する
	EAN-8 チェックデジット出力しない
	EAN ISSN/ISBN 変換する
	EAN ISSN.ISBN 変換しない
	ISBN 読取らない(9784/192)
	ISBN 読取る (9784/192)
	ISBN 以外のシンボルも読取る ※”ISBN 読取る”を設定した場合に使用する
	ISBN 以外のシンボルは読取らない ※”ISBN 読取る”を設定した場合に使用する
	定期刊行物(雑誌など)コード 491+追加シンボル 5 桁のみ読取る EAN-13 は読取らない

	<p>定期刊行物(雑誌など)コード 491+追加シンボル 5 桁以外の EAN-13 も読取る</p>
	<p>978/977+追加シンボル 書籍バーコード 978/977+追加シンボル 5 桁のみ読取る EAN-13 は読取らない</p>
	<p>978/977+追加シンボル 書籍バーコード 978/977+追加シンボル 5 桁以外の EAN-13 も読取る</p>

2-2. Code 39 設定

	読取る
	読取らない
	データ照合チェックしない
	データ照合チェック = 1 回
	データ照合チェック = 2 回
	データ照合チェック = 3 回
	標準
	Full ASCII

	スタート/ストップ(*) コード出力しない
	スタート/ストップ(*) コード出力する
	チェックデジットをチェックしない
	チェックデジットをチェックする 出力しない
	チェックデジットをチェックする 出力する
	最大コード長設定
	最小コード長設定


2-3. Code 93 設定

	読取る
	読取らない
	データ照合チェックしない
	データ照合チェック = 1 回

	データ照合チェック = 2 回
	データ照合チェック = 3 回
	最大コード長設定
	最小コード長設定

2-4. Code 128/GS1-128 設定

	読取る
	読取らない
	データ照合チェックしない
	データ照合チェック = 1 回
	データ照合チェック = 2 回
	データ照合チェック = 3 回
	最大コード長設定

	最小コード長設定
-----------------------------------------------------------------------------------	----------

2-5. GS1-128 データ編集設定

	AI に()を付加する (AI1)Data1(AI2)Data2(AI3)Data3 ...
	AIM ID を付加する]C1AI1Data1AI2Data2<GS>AI3Dat3 ...
	標準形式 AI1Data1AI2Data2AI3Data3 ...
	AI を削除する Data1Data2<GS>Data3 ...
	区切り(FNC1)を任意文字に変更 USB HID で有効 1文字もしくは2文字設定可能 RS-232 および USB-Virtual COM では<GS>(0x1D) を出力



2-6. Codabar 設定

	読取る
	読取らない
	データ照合チェックしない
	データ照合チェック = 1 回

	データ照合チェック = 2 回
	データ照合チェック = 3 回
	スタート/ストップ キャラクタ出力しない
	スタート/ストップ コード A,B,C,D
	スタート/ストップ コード DC1~DC4
	スタート/ストップ a/t,b/n,c/*,d/e
	スタート/ストップ キャラクタ a,b,c,d
	チェックデジットをチェックしない
	チェックデジットをチェックする 出力しない モジュラス 16
	チェックデジットをチェックする、出力する モジュラス 16
	最大コード長設定
	最小コード長設定

2-7. ITF（インターリーブド 2 of 5）設定



	読取る
	読取らない
	データ照合チェックしない
	データ照合チェック = 1 回
	データ照合チェック = 2 回
	データ照合チェック = 3 回
	チェックデジットをチェックしない
	チェックデジットをチェックする 出力しない
	チェックデジットをチェックする 出力する
	読取り桁数を固定する : 1 つ目
	読取り桁数を固定する : 2 つ目
	コード長可変 読取り桁数の固定を解除する

	最大コード長設定
	最小コード長設定

2-8. インダストリアル 2 of 5 設定

	読取る
	読取らない
	チェックデジット出力する
	チェックデジット出力しない
	最大コード長設定 デフォルト:6-32
	最小コード長設定


2-9. マトリックス 2 of 5 設定

	読取る
	読取らない

	NEC 2 of 5 読取る
	NEC 2 of 5 読取らない
	チェックデジット 出力する
	チェックデジット 出力しない
	最大コード長設定
	最小コード長設定

2-10. スタンダード 2 of 5 設定

	読取る
	読取らない
	チェックデジット出力する
	チェックデジット出力しない
	最大コード長設定 デフォルト:6-32

	最小コード長設定
-----------------------------------------------------------------------------------	----------

2-11. MSI 設定

	読取る
	読取らない
	2桁のチェックデジットをチェックしない
	2桁のチェックデジットをチェックする 出力しない
	2桁のチェックデジットをチェックする 1桁目のみ出力する
	2桁のチェックデジットをチェックする 2桁出力する
	1桁のチェックデジットをチェックする 出力しない
	1桁のチェックデジットをチェックする 出力する
	最大コード長設定
	最小コード長設定

2-12. GS1 DataBar 設定

GS1 DataBar = Omnidirectional, Truncated, Stacked, Stacked Omnidirectional

GS1 DataBar Limited = Limited

GS1 DataBar Expanded = Expanded, Expanded Stacked

	GS1 DataBar 読取る
	GS1 DataBar 読取らない
	GS1 DataBar Limited 読取る
	GS1 DataBar Limited 読取らない
	GS1 DataBar Expander 読取る
	GS1 DataBar Expanded 読取らない
	GS1 DataBar データ照合チェックしない
	GS1 DataBar データ照合チェック = 1 回
	GS1 DataBar データ照合チェック = 2 回
	GS1 DataBar データ照合チェック = 3 回
	GS1 DataBar Limited データ照合チェックしない



	GS1 DataBar Limited データ照合チェック = 1 回
	GS1 DataBar Limited データ照合チェック = 2 回
	GS1 DataBar Limited データ照合チェック = 3 回
	GS1 DataBar Expanded データ照合チェックしない
	GS1 DataBar Expanded データ照合チェック = 1 回
	GS1 DataBar Expanded データ照合チェック = 2 回
	GS1 DataBar Expanded データ照合チェック = 3 回



2-13. GS1 DataBar データ編集設定

	AI に()を付加する (AI1)Data1(AI2)Data2(AI3)Data3 ...
	AIM ID を付加する]e0AI1Data1AI2Data2<GS>AI3Dat3 ...
	標準形式 AI1Data1AI2Data2AI3Data3 ...
	AI を削除する Data1Data2<GS>Data3 ...

	<p>区切り(FNC1)を任意文字に変更 USB HID で有効 1 文字もしくは 2 文字設定可能 RS232 および USB-Virtual COM では<GS>(0x1D) を出力</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2-14. QR Code/Micro QR Code 設定




	QR Code 読取る
	QR Code 読取らない
	Micro QR Code 読取る
	Micro QR Code 読取らない
	Model 1 読取る
	Model 1 読取らない
	反転読取る
	反転読取らない
	最大コード長設定 (初期値 2,000 文字読取可)
	色反転設定= Dark on Light

	色反転設定= Light on Dark
	色反転設定= どちらも読取る

2-15. GS1 QR データ編集設定

	AI に()を付加する (AI1)Data1(AI2)Data2(AI3)Data3 ...
	AIM ID を付加する]Q3AI1Data1AI2Data2<GS>AI3Dat3 ...
	標準形式 AI1Data1AI2Data2AI3Data3 ...
	AI を削除する Data1Data2<GS>Data3 ...
	区切り(FNC1)を任意文字に変更 USB HID で有効 1文字もしくは2文字設定可能 RS232 および USB-Virtual COM では、<GS>(0x1D) を出力

2-16. Data Matrix 設定

	読取る
	読取らない
	反転読取る

	反転読取らない
	長方形設定読取る
	長方形設定読取らない
	最大コード長設定 (最大データは 3116)
	色反転設定 = Dark on Light
	色反転設定 = Light on Dark
	色反転設定 = どちらも読取る

2-17. GS1 DataMatrix データ編集設定

	AI に()を付加する (AI1)Data1(AI2)Data2(AI3)Data3 ...
	AIM ID を付加する]d2AI1Data1AI2Data2<GS>AI3Dat3 ...
	標準形式 AI1Data1AI2Data2AI3Data3 ...
	AI を削除する Data1Data2<GS>Data3 ...

	<p>区切り(FNC1)を任意文字に変更 USB HID で有効 1 文字もしくは 2 文字設定可能 RS-232 および USB-Virtual COM では、<GS>(0x1D) を出力</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2-18. PDF417/Micro PDF417 設定



	<p>PDF417 読取る</p>
	<p>PDF417 読取らない</p>
	<p>Micro PDF417 読取る</p>
	<p>Micro PDF417 読取らない</p>
	<p>データ照合チェック無</p>
	<p>データ照合チェック = 1 回</p>
	<p>データ照合チェック = 2 回</p>
	<p>データ照合チェック = 3 回</p>

2-19. Aztec Code 設定



	<p>読取る</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	------------

	読取らない
	反転読取る
	反転読取らない
	色反転設定= Dark on Light
	色反転設定= Light on Dark
	色反転設定 = どちらも読取る

2-20. MaxiCode 設定

	読取る
	読取らない

2-21. GS1 Composite 設定

	CC-A 読取る
	CC-A 読取らない

	CC-B 読取る
	CC-B 読取らない
	CC-C 読取る
	CC-C 読取らない
	EAN/UPC 一次元のみ出力 二次元の有無は無視して一次元データのみ出力する
	EAN/UPC 一次元二次元どちらも出力 二次元の有無を判別して、有は二次元データを一次元データに連結して出力する、無は一次元データのみ出力する
	EAN/UPC 二次元のみ出力 二次元の有のみデータ出力する、無はデータ出力しない

2-22. GS1 Composite データ編集設定

	AI に()を付加する (AI1)Data1(AI2)Data2(AI3)Data3 ...
	AIM ID を付加する]e0AI1Data1AI2Data2<GS>AI3Dat3 ...
	標準形式 AI1Data1AI2Data2AI3Data3 ...
	AI を削除する Data1Data2<GS>Data3 ...

	区切り(FNC1)を任意文字に変更 USB HID で有効 1 文字もしくは 2 文字設定可能 RS232 および USB-Virtual COM では、<GS>(0x1D) を出力
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

2-23. 日本郵便 カスタマバーコード設定

	読取る
	読取らない

2-24.コード ID 設定

コード ID 変更の手順

- 1.“スキャナの標準コード ID 付加する”もしくは“AIM コード ID 付加する”を選択する。
- 2.シンボルを選択して 1 文字もしくは 2 文字設定する。

※コード ID 変更の注意点

“コード ID 付加しない” もしくは “初期化”で工場出荷設定のコード ID に戻る。

コード ID を変更した後、“カスタム設定保存”で変更した設定を保存すれば“カスタムデフォルト”で変更した設定に戻る。

	コード ID 付加しない
	スキャナの標準コード ID 付加する (表 A 参照)
	AIM 標準コード ID 付加する (表 A 参照)
	UPC-A コード ID 設定
	UPC-E コード ID 設定
	EAN-13 コード ID 設定
	EAN-8 コード ID 設定
	Code 39 コード ID 設定
	Code 93 コード ID 設定
	Code 128 コード ID 設定

	GS1-128 コード ID 設定
	Codebar コード ID 設定
	ITF (インターリード 2 of 5)コード ID 設定
	インダストリアル 2 of 5 コード ID 設定
	マトリックス 2of 5 コード ID 設定
	スタンダード 2 of 5 コード ID 設定
	MSI/Plessey コード ID 設定
	GS1 Databar コード ID 設定
	GS1 Databar Limited コード ID 設定
	GS1 Databar Expanded コード ID 設定
	QR コード ID 設定
	Micro QR Code コード ID 設定
	GS1 QR Code コード ID 設定

	DataMatrix コード ID 設定
	GS1 Data Matrix コード ID 設定
	Micro PDF 417 コード ID 設定
	PDF417 コード ID 設定
	AZTEC コード ID 設定
	Maxi code コード ID 設定
	GS1 Composite CC-A コード ID 設定
	GS1 Composite CC-B コード ID 設定
	GS1 Composite CC-C コード ID 設定

2-24-1. Identifiers Code Table ”表 A”

Symbology	Factory Standard	AIM ID
UPC-A	A]E
UPC-E	E]E
EAN-13	F]E
EAN-8	FF]E
Code39	M]A
Code93	L]G
Code128	K]C
GS1-128	W]C
Codabar	N]F
ITF 2 of 5	I]I
Industrial 2 of 5	S]S
Matrix 2 of 5 NEC 2 of 5	G]X
Standard 2 of 5	Z]R
MSI/Plessey	a]M
GS1 Databar	RS]e
GS1 Databar Limited	RL]e
GS1 Databar Expanded	RX]e
QR Code	u]Q
Micro QR Code	j]Q
GS1 QR Code	q]Q
DataMatrix	t]d
GS1 DataMatrix	d]d
PDF417	r]L
Micro PDF417	s]L
Aztec Code	e]z
MaxiCode	v]U
GS1 Composite CC-A	m]e
GS1 Composite CC-B	n]e
GS1 Composite CC-C	i]e

2-25. キャラクタ設定

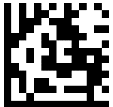

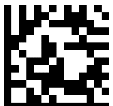








	<p>バーコードキャラクタの桁数を先頭に付加する</p> <p>xxxx 4 桁で出力</p>
	<p>バーコードキャラクタの桁数を付加しない</p>
	<p>プレアンブル付加する</p> <p>最大設定文字数: 10 文字</p> <p>無効 (Disable) がないので出力を一時的に取消すことはできない。</p> <p>設定文字の付加を取消すには、以下の 2 つの手順がある。</p> <p>設定バーコード + 確定 もしくは、Reset バーコードで設定した文字を削除する。</p>
	<p>ポストアンブル 付加する</p> <p>最大設定文字数: 10 文字</p> <p>無効 (Disable) がないので出力を一時的に取消すことはできない。</p> <p>設定文字の付加を取消すには、以下の 2 つの手順がある。</p> <p>設定バーコード + 確定 もしくは、Reset バーコードで設定した文字を削除する。</p>
	<p>バーコードキャラクタの文字削除</p> <p>先頭からの文字数設定</p>
	<p>バーコードキャラクタの文字削除</p> <p>後端からの文字数設定</p>
	<p>文字間遅延時間 0ms</p>
	<p>文字間遅延時間 2ms</p>
	<p>文字間遅延時間 5ms</p>
	<p>文字間遅延時間 10ms</p>

	文字間遅延時間 20ms
	文字間遅延時間 50ms
	文字間遅延時間 90msec
	文字間遅延時間 100msec
	メッセージ間遅延時間 0 ms
	メッセージ間遅延時間 100 ms
	メッセージ間遅延時間 500 ms
	メッセージ間遅延時間 1000 ms



確定

3.Full ASCII コード表

Data Matrix	ASCII	16進コード
	Full ASCII --- NUL	00
	Full ASCII --- SOH Function key-----“Ins”	01
	Full ASCII --- STX Function key-----“Del”	02
	Full ASCII --- ETX Function key-----“Home”	03
	Full ASCII --- EOT Function key-----“End”	04
	Full ASCII --- ENQ Function key-----“Up arrow”	05
	Full ASCII --- ACK Function key-----“Down arrow”	06
	Full ASCII --- BEL Function key-----“Left arrow”	07
	Full ASCII --- BS Function key-----“Backspace”	08
	Full ASCII --- HT Function key-----“TAB”	09
	Full ASCII --- LF Function key-----“Enter (alpha numeric)”	0A










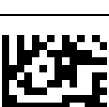




確定

	Full ASCII --- VT Function key-----“right arrow”	0B
	Full ASCII --- FF Function key-----“PgUp”	0C
	Full ASCII --- CR Function key-----“Enetr(num.)”	0D
	Full ASCII --- SO Function key-----“PgDn”	0E
	Full ASCII --- SI Function key-----“Shift”	0F
	Full ASCII --- DLE Function key-----“5(num)”	10
	Full ASCII --- DC1 Function key-----“F1”	11
	Full ASCII --- DC2 Function key-----“F2”	12
	Full ASCII --- DC3 Function key-----“F3”	13
	Full ASCII --- DC4 Function key-----“F4”	14
	Full ASCII --- NAK Function key-----“F5”	15
	Full ASCII --- SYN Function key-----“F6”	16



確定

	Full ASCII --- ETB Function key-----“F7”	17
	Full ASCII --- CAN Function key-----“F8”	18
	Full ASCII --- EN Function key-----“F9”	19
	Full ASCII --- SUB Function key-----“F10”	1A
	Full ASCII --- ESC Function key-----“F11”	1B
	Full ASCII --- FS Function key-----“F12”	1C
	Full ASCII --- GS Function key-----“ESC”	1D
	Full ASCII --- RS Function key-----“CTL(L)”	1E
	Full ASCII --- US Function key-----“ALT(L)”	1F
	Full ASCII --- SP	20
	Full ASCII --- !	21
	Full ASCII --- “	22















確定

	Full ASCII --- #	23
	Full ASCII --- \$	24
	Full ASCII --- %	25
	Full ASCII --- &	26
	Full ASCII --- ‘	27
	Full ASCII --- (28
	Full ASCII ---)	29
	Full ASCII --- *	2A
	Full ASCII --- +	2B
	Full ASCII --- ,	2C
	Full ASCII --- -	2D
	Full ASCII --- .	2E







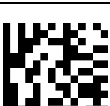







確定

	Full ASCII --- /	2F
	Full ASCII --- 0	30
	Full ASCII --- 1	31
	Full ASCII --- 2	32
	Full ASCII --- 3	33
	Full ASCII --- 4	34
	Full ASCII --- 5	35
	Full ASCII --- 6	36
	Full ASCII --- 7	37
	Full ASCII --- 8	38
	Full ASCII --- 9	39
	Full ASCII --- :	3A















確定

	Full ASCII --- ;	3B
	Full ASCII --- <	3C
	Full ASCII --- =	3D
	Full ASCII --- >	3E
	Full ASCII --- ?	3F
	Full ASCII --- @	40
	Full ASCII --- A	41
	Full ASCII --- B	42
	Full ASCII --- C	43
	Full ASCII --- D	44
	Full ASCII --- E	45
	Full ASCII --- F	46



確定

	Full ASCII --- G	47
	Full ASCII --- H	48
	Full ASCII --- I	49
	Full ASCII --- J	4A
	Full ASCII --- K	4B
	Full ASCII --- L	4C
	Full ASCII --- M	4D
	Full ASCII --- N	4E
	Full ASCII --- O	4F
	Full ASCII --- P	50
	Full ASCII --- Q	51
	Full ASCII --- R	52



確定

	Full ASCII --- S	53
	Full ASCII --- T	54
	Full ASCII --- U	55
	Full ASCII --- V	56
	Full ASCII --- W	57
	Full ASCII --- X	58
	Full ASCII --- Y	59
	Full ASCII --- Z	5A
	Full ASCII --- [5B
	Full ASCII --- ¥	5C
	Full ASCII ---]	5D
	Full ASCII --- ^	5E



確定

	Full ASCII --- _	5F
	Full ASCII --- `	60
	Full ASCII --- a	61
	Full ASCII --- b	62
	Full ASCII --- c	63
	Full ASCII --- d	64
	Full ASCII --- e	65
	Full ASCII --- f	66
	Full ASCII --- g	67
	Full ASCII --- h	68
	Full ASCII --- i	69
	Full ASCII --- j	6A












確定

	Full ASCII --- k	6B
	Full ASCII --- l	6C
	Full ASCII --- m	6D
	Full ASCII --- n	6E
	Full ASCII --- o	6F
	Full ASCII --- p	70
	Full ASCII --- q	71
	Full ASCII --- r	72
	Full ASCII --- s	73
	Full ASCII --- t	74
	Full ASCII --- u	75
	Full ASCII --- v	76



確定

	Full ASCII --- w	77
	Full ASCII --- x	78
	Full ASCII --- y	79
	Full ASCII --- z	7A
	Full ASCII --- {	7B
	Full ASCII ---	7C
	Full ASCII --- }	7D
	Full ASCII --- ~	7E
	Full ASCII --- DEL	7F

4. 外部コマンドによる制御機能

本スキャナは、RS-232 および USB 仮想 COM インターフェースで使用する場合、ホスト機器(PC など)からスキャナへコマンドを送信することでスキャナ機能の一部を制御することができます。

1) 4 種のスキャンコマンドと OFF コマンドで読取り動作を選択することができます。

2) LED、ビープ、バイブレーションによりオペレータへ任意の通知をすることができます。

*メモ: スキャナは、コマンドを受信するとそれぞれの動作を実行してホスト機器へ ACK (0x06) を送信します。

4-1. スキャンコマンド

運用に適した読取り動作を選択します。

4-1-1. スキャンコマンド: OFF

<ESC>A1<CR> (0x1b 0x41 0x31 0x0d)

読取りできる状態のスキャナを OFF します。

4-1-2. スキャンコマンド: 1

<ESC>A0<CR>

連続読取りできる状態にします。

・スキャナを OFF するには、“A1”コマンドを使用します。

4-1-3. スキャンコマンド: 2

<ESC>A2<CR>

読取り完了するまで読取りできる状態を維持します。

・読取り完了するとスキャナは OFF になります。

・読取りを行わずにスキャナを OFF するには、“A1”コマンドを使用します。

4-1-4. スキャンコマンド: 3

<ESC>A0.mm<CR> mm=1 ~ 60 (秒) の範囲内で設定できます。

読取り完了もしくは時間を設定してスキャナを OFF することができます。

・読取り完了するとスキャナは OFF になります。

・一回も読取りを行わない場合でもコマンド受信を起点に設定時間でスキャナは OFF になります。

・“A1”コマンドを使用してもスキャナは OFF になりません。

Ex) 20 秒後にスキャナを OFF する。

<ESC>A0.20<CR> (0x1b 0x41 0x30 0x2E 0x32 0x30 0x0d)

4-1-5. スキャンコマンド:4

<ESC>A2.mm<CR> mm=1 ~ 60 (秒) の範囲内で設定できます。

連続読取りできる状態から時間を設定してスキャナを OFF することができます。

- ・最後に読取り完了した時を起点に設定時間でスキャナは OFF になります。
- ・一回も読取りを行わない場合でもコマンド受信を起点に設定時間でスキャナは OFF になります。
- ・“A1”コマンドを使用してもスキャナは OFF になりません。

Ex) 30 秒後にスキャナを OFF する。

<ESC>A2.30<CR> (0x1b 0x41 0x32 0x2E 0x33 0x30 0x0d)

4-2. 通知コマンド

正読時の通知とは別の機能として任意で LED、ビープ、バイブレータを動作させることができます。

4-2-1. LED 点灯/消灯

青色および赤色が選択できます。*赤色、青色同時点灯することで紫色も可能です。

青色 LED 点灯コマンド <ESC>LBON<CR> (0x1b 0x4C 0x42 0x4F 0x4E 0x0d)

青色 LED 消灯コマンド <ESC>LBOF<CR> (0x1b 0x4C 0x42 0x4F 0x46 0x0d)

赤色 LED 点灯コマンド <ESC>LRON<CR> (0x1b 0x52 0x42 0x4F 0x4E 0x0d)

赤色 LED 消灯コマンド <ESC>LROF<CR> (0x1b 0x52 0x42 0x4F 0x46 0x0d)

4-2-2. ビープ発音

音色、発音時間、音量の組合せが選択できます。

ビープコマンドフォーマット: <ESC>BP"音色""発音時間""音量"<CR>

音色: 0 = 低音 1 = 中音 2 = 高音

発音時間: 0 = 5msec 1 = 20msec 2 = 50msec 3 = 100msec 4 = 500msec

音量: 0 = 小 1 = 中 2 = 大

Ex) 音色 = 低音 "0"、発音時間 = 100msec "3"、音量 = 小 "0"

<ESC>BP030<CR> (0x1b 0x42 0x52 0x30 0x33 0x30 0x0d)

4-2-3. バイブレータ駆動

回数、駆動時間、駆動間隔の組合せが選択できます。

ビーブコマンドフォーマット: <ESC>VB"回数""駆動時間""間隔"<CR>

回数: 1-9

駆動時間: 00-99 unit=100msec

間隔: 1-9 unit=100msec

Ex) 回数=5 回"5"、駆動時間=500msec"05"、間隔=100msec"1"

<ESC>VB5051<CR> (0x1b 0x56 0x42 0x35 0x30 0x35 0x31 0x0d)

アイメックス株式会社

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-4-14

TEL : 03-3750-0511 FAX : 03-3756-0611

 www.aimex.co.jp  sales@aimex.co.jp